

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「インベスコ 世界株式オープン」は、この
たび、第27期の決算を行いました。

当ファンドは世界各国（日本、新興国を含みます。）
の株式を実質的な主要投資対象とし、中長期的な投資
信託財産の成長を図ることを目標として運用を行いま
した。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報
告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上
げます。



インベスコ 世界株式オープン
愛称：G★プレイヤー

追加型投信／内外／株式

第27期末(2020年11月30日)	
基準価額	13,389円
純資産総額	1,851百万円
第27期	
騰落率	15.2%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。



交付運用報告書

第27期

(決算日 2020年11月30日)

作成対象期間 (2020年6月2日～2020年11月30日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100
(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

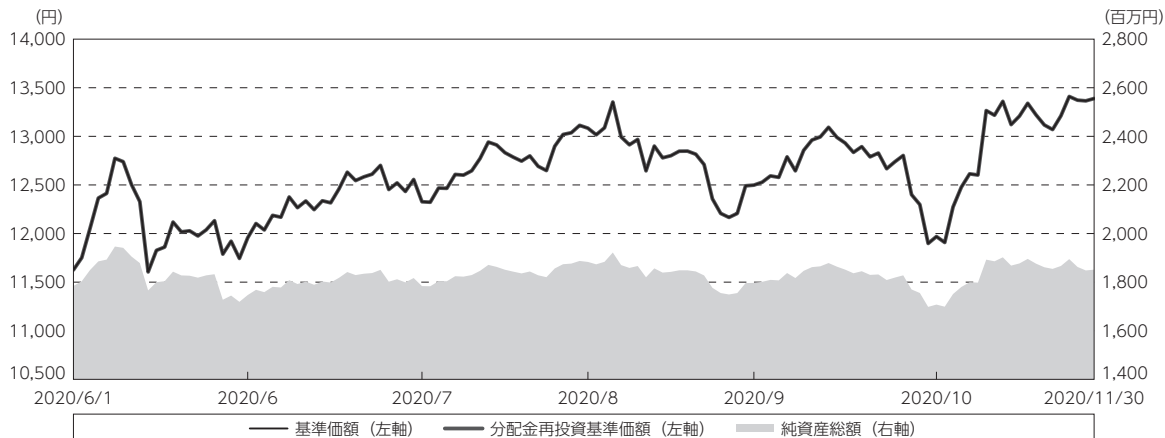
ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

UD 見やすく読みまちがえにくい
FONT ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年6月2日～2020年11月30日)



期 首：11,626円

期 末：13,389円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 15.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2020年6月1日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・世界各国(日本、新興国を含みます。)の株式を実質的な主要投資対象としているため、全ての主要株式市場が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・企業の本質的な価値を判断し、その中から株価が割安であると考えられる企業に焦点を当てて銘柄を選別した結果、KION GROUP AG(ドイツ/資本財)、SABRE(米国/ソフトウェア・サービス)、APTIV(米国/自動車・自動車部品)などの株価の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。
- ・実質外貨建資産の為替ヘッジを行わなかったため、ユーロや英ポンドなど、投資対象資産の主要な組入通貨が対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・個別銘柄において、BRITISH AMERICAN TOBACCO（英国／食品・飲料・タバコ）、SCHLUMBERGER（米国／エネルギー）、BECTON DICKINSON（米国／ヘルスケア機器・サービス）などの株価の下落が、基準価額の下落要因となりました。
- ・実質外貨建資産の為替ヘッジを行わなかったため、投資対象資産の主要な組入通貨である米ドルが対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2020年6月2日～2020年11月30日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	106	0.861	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(51)	(0.411)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(51)	(0.411)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(5)	(0.038)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.029	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式会社）	(4)	(0.029)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	6	0.047	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(2)	(0.020)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
（その他）	(0)	(0.002)	その他は、外国有価証券に係る税金・手数料等
合計	116	0.937	
期中の平均基準価額は、12,366円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

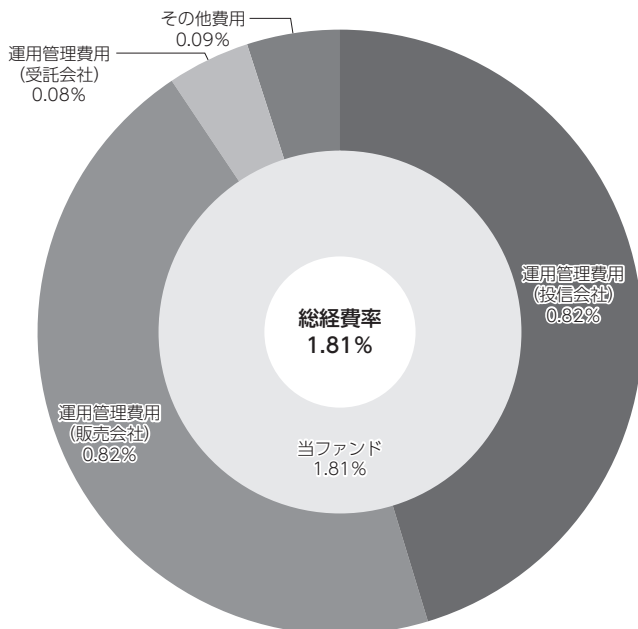
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.81%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年11月30日～2020年11月30日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2015年11月30日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2015年11月30日 決算日	2016年11月30日 決算日	2017年11月30日 決算日	2018年11月30日 決算日	2019年12月2日 決算日	2020年11月30日 決算日
基準価額 (円)	10,983	10,538	12,314	12,310	13,595	13,389
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 4.1	16.9	△ 0.0	10.4	△ 1.5
純資産総額 (百万円)	3,282	2,750	2,472	2,210	2,191	1,851

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて企業の国籍や業種にとらわれることなく、グローバルな視点から成長の見込まれる企業に投資を行っています。そのため、当ファンドと比較するベンチマークおよび参考指数を設けていません。

(2020年6月2日~2020年11月30日)

投資環境

TOPIX (東証株価指数) (日本)	+11.9%	S & P 500 指数 (米国)	+18.5%
FTSE 100 指数 (英国)	+1.6%	DAX 指数 (ドイツ)	+14.7%
CAC 40 指数 (フランス)	+15.9%		
米ドル/円	103円89銭 (前期末107円74銭)	ユーロ/円	124円38銭 (同119円82銭)

※株価指数の騰落率は当期末時点 (対前期末比)、米ドル/円およびユーロ/円は当期末の数値です。

当期の世界の株式市場は上昇しました。前半は、新型コロナウイルスの感染者数の増減に応じ、株式市場は一進一退の展開となる局面もありましたが、各国政府による経済支援策や中央銀行による金融緩和策に加え、経済活動の再開や商品市況の回復などが好感され、株式市場は上昇しました。後半は、大手テクノロジー関連銘柄の株価の下落が嫌気され軟調に推移する局面もありましたが、新型コロナウイルスのワクチン開発に関する前向きな報道や米国大統領選挙の先行き不透明感の後退などが好感され、株式市場は上昇して期末を迎えました。

為替市場では、米ドルは対円で下落しました。米連邦準備理事会 (F R B) による大規模な緩和的な金融政策が長期化するとの見通しなどを背景に、円高/米ドル安となりました。一方、ユーロは対円で上昇しました。ユーロは新型コロナウイルスの感染再拡大から下落する局面がありましたが、経済支援として欧州連合 (E U) 首脳協議で復興基金の創設が合意されたことや、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展から経済正常化への期待が高まったことなどを背景に、円安/ユーロ高となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2020年6月2日～2020年11月30日)

主として、インベスコ 世界株式 マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）に投資を行い、マザーファンドを通じて、世界各国（日本、新興国を含みます。）の株式に投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジを行いませんでした。

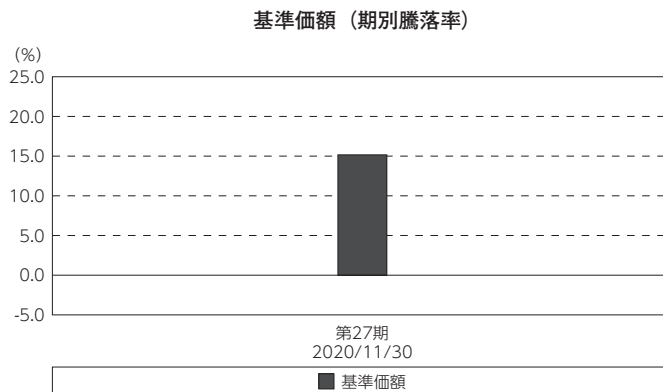
マザーファンドでは、企業の本質的な価値を判断し、その中から株価が割安であると考えられる企業に焦点を当て銘柄を選別し、ポートフォリオを構築しました。株式組入比率は、期を通じて高位を維持しました。期中、株価上昇余地があり、競争優位性が高く質の高い経営を行っていると判断した企業を購入した一方、株価が適正水準に到達したと判断した銘柄や、既存の保有銘柄よりもさらに魅力的な投資機会を発掘した際は、保有銘柄の全売却を行いました。具体的には、金融業界向けのソフトウェアの提供を手掛けるTEMENOS（スイス／ソフトウェア・サービス）や高級品の製造・販売を手掛ける世界的リーダーのCIE FINANCIERE RICHEMONT（スイス／耐久消費財・アパレル）を新規に組み入れました。一方、NIELSEN HOLDINGS（米国／商業・専門サービス）、WELLS FARGO（米国／銀行）を全売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年6月2日～2020年11月30日)

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、当期の基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(2020年6月2日～2020年11月30日)

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第27期
	2020年6月2日 ～2020年11月30日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,973

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主としてマザーファンドへの投資を通じて、世界各国(日本、新興国を含みます。)の株式に投資を行います。また、実質外貨建資産への投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、企業の本質的な価値を判断し、その中から株価が割安であると考えられる企業に焦点を当て、銘柄を選別し、ポートフォリオを構築します。新型コロナウイルスを巡る世界的な混乱については、引き続き注視が必要ですが、各国の政府は大規模な経済・景気対策を打ち出し、迅速に対応しています。感染再拡大への懸念は残るものの、複数の製薬会社で治験中の新型コロナウイルスのワクチンについて高い有効性が示されるなど新型コロナウイルスのワクチン開発は着実に進展しており、各国で経済活動は再開され、経済指標にも改善の基調が見られます。また、各国の中央銀行は、利下げや量的緩和策に踏み切り、景気動向を注視し、経済を支えるためにあらゆる政策手段を講じる姿勢を維持しています。今後、世界の株式市場は、不透明感が強く値動きの激しい展開が続くことが見込まれるものの、新型コロナウイルスの感染が更に収束していけば、上昇していくであろうと予想しています。

このような投資環境の見通しの下、ポートフォリオの運営では、従来の投資哲学にのっとり、企業のファンダメンタルズに注目し、割安と考えられる株価水準で取引されている「質の高い企業」に投資することを継続していきます。「質の高い企業」とは、①持続性のある競争優位性、②良好な成長見通し、③財務の健全性、④実行力のある経営陣を有している一といった特徴を備えた企業を指し、このような企業は、市場シェアを引き上げながら資本効率を上げることが可能と考えています。このような銘柄を発掘するために、ファンダメンタルズ・リサーチを引き続き重視し、企業の国籍や業種にとらわれることなく、グローバルな視点から持続的な成長が見込まれる企業に投資を行う方針です。

お知らせ

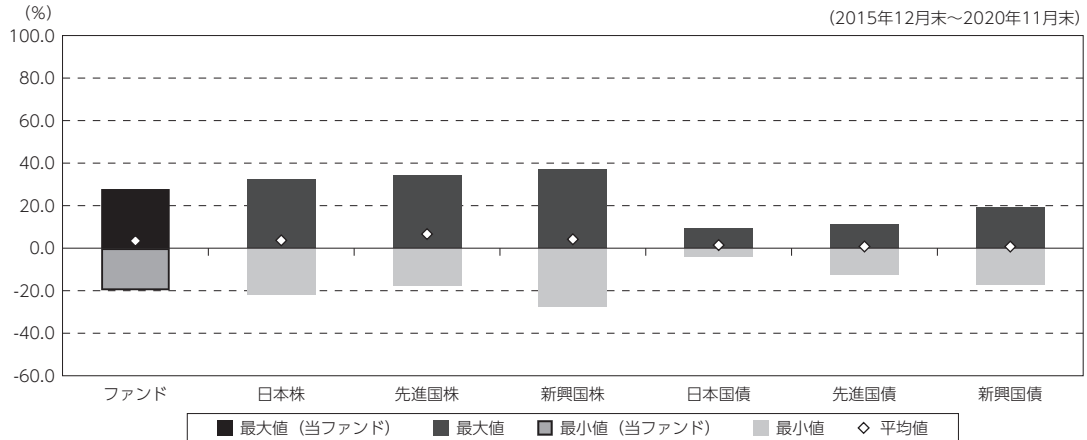
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2022年5月30日まで	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「インベスコ 世界株式 マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、中長期的な投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。 ・実質外貨建資産への投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行いません。 	
主要投資対象	インベスコ 世界株式 オープン	「インベスコ 世界株式 マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	インベスコ 世界株式 マザーファンド	世界各国（日本、新興国を含みます。）の株式を主要投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界各国（日本、新興国を含みます。）の株式に分散投資を行います。 ・企業の調査・分析にあたっては、企業の本質的な価値を判断し、その中から株価が割安であると考えられる企業に焦点を当て、銘柄を選別し、ポートフォリオを構築します。 	
分配方針	<p>原則として年2回の毎決算時（5・11月の各30日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。</p> <p>ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないこともあります。</p>	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	3.4	3.7	6.6	4.2	1.5	0.8	0.8
最大値	27.8	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
最小値	-19.8	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年12月から2020年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P12の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2020年11月30日現在)

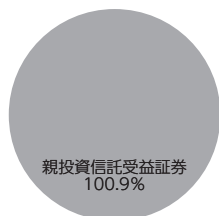
○組入上位ファンド

銘柄名	第27期末
インベスコ 世界株式 マザーファンド	100.9%
組入銘柄数	1銘柄

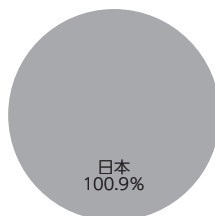
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

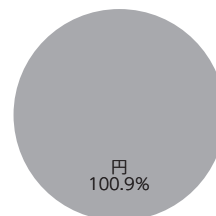
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

純資産等

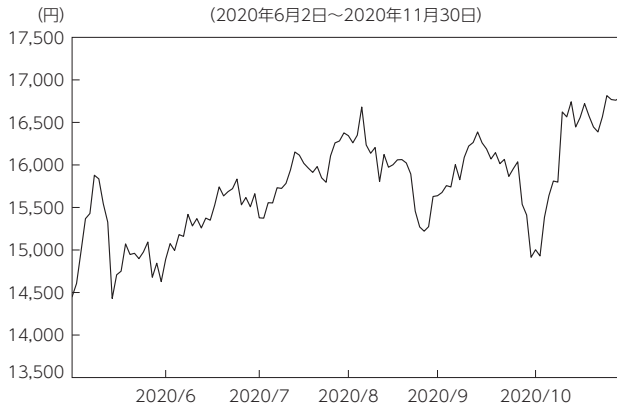
項目	第27期末
	2020年11月30日
純資産総額	1,851,364,322円
受益権総口数	1,382,767,919口
1万口当たり基準価額	13,389円

* 期中における追加設定元本額は94,463円、同解約元本額は152,121,488円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ 世界株式 マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万円当たりの費用明細】

(2020年6月2日～2020年11月30日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式 券) (投 資 信 託 証 券)	5 (5) (0)	0.029 (0.029) (0.000)
(b) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	3 (3) (0)	0.019 (0.017) (0.002)
合計	8	0.048

期中の平均基準価額は、15,450円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2020年11月30日現在)

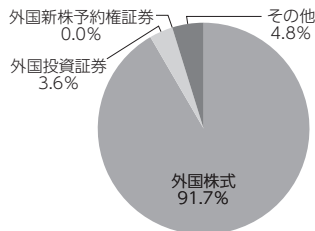
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	MICROSOFT	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	6.1
2	VISA-A	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	4.9
3	SAP	ソフトウェア・サービス	ユーロ	ドイツ	4.6
4	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	小売	米ドル	中国	4.4
5	KION GROUP AG	資本財	ユーロ	ドイツ	4.3
6	ANALOG DEVICES	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	3.9
7	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	3.8
8	ACCENTURE	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	3.6
9	EQUINIX	投資証券	米ドル	アメリカ	3.6
10	BRITISH AMERICAN TOBACCO	食品・飲料・タバコ	英ポンド	イギリス	3.4
	組入銘柄数			32銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

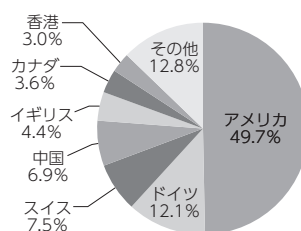
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

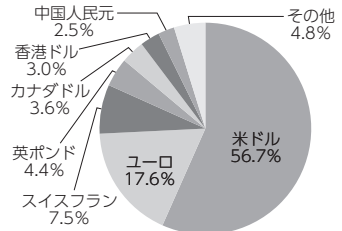
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

○MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

○NOMURA - BPI 国債

NOMURA - BPI 国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co.及び関係会社 (「JP モルガン」) に帰属しております。JP モルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JP モルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。